

令和7年6月23日(月)

50th
ANNIVERSARY



先週は、3日間に及ぶ学校総合体育大会入間東部大会が行われました。梅雨の晴れ間の猛暑が厳しい折でしたが、生徒たちは全力で試合に臨んでいました。大変お疲れ様でした。

印象的だったのは、試合に出場しない生徒の応援の声です。チームの一員として、精一杯の声を出していました。仲間との絆が一段と強まった大会でした。

試合に勝つことは努力の証ですし、やってきたことへの自信にもなります。しかし、勝ち続けることは困難です。負けたときこそ、チームとしてそれを受け止め、自分に向き合うきっかけとなります。負けたことが努力を否定することにはなりません。落胆したり、悔しくて涙を流すことも、その先の成長につながる経験です。真剣に取り組んだことを自分の成長の糧とできるかどうかは、自分次第とも言えます。仲間と共に成長することもありです。

今大会の入賞記録等は、学校だより「西の明星」7月号でご紹介します。



今日は、吹奏楽部が埼玉県西部支部の発表会で演奏を行いました。中学校と高等学校が参加しており、5日間に渡って開催されています。今日がその最終日でした。本校が演奏したのは、喜歌劇「メリーウィドウ」セレクションです。38名による堂々とした演奏は、ホールいっぱいに響きました。演奏後は、観客から大きな拍手をいただきました。

吹奏楽部は、夏にコンクールがあります。これからさらに磨きをかけていくことでしょう。期待しています。

